

豊明市立学校給食センター運営委員会 会議録

「平成29年度第2回」

平成30年3月16日(金)午後3時30分第2回学校給食センター運営委員会は豊明市役所東館3階会議室10に招集された。

1 応召委員は、次のとおりである。

委員：野々山美津子	委員：中野 敏宏	委員：伏屋 一幸
委員：高御堂 宏	委員：行村 良江	委員：梶村 清彦
委員：佐伯 曜子	委員：東 祐子	委員：岡口美弥子
委員：市川 信幸	委員：和久田祥子	委員：小塚 未佳
委員：寺尾美奈子	委員：太田 満	委員：水野 孝彦

2 出席委員は、次のとおりである。

委員：野々山美津子	委員：中野 敏宏	委員：伏屋 一幸
委員：高御堂 宏	委員：梶村 清彦	委員：東 祐子
委員：岡口美弥子	委員：和久田祥子	委員：小塚 未佳
委員：寺尾美奈子		

3 欠席委員は、次のとおりである。

委員：行村 良江	委員：佐伯 曜子	委員：市川 信幸
委員：太田 満	委員：水野 孝彦	

4 会議事件説明のため出席を求めたものは次のとおりである

教育部長：加藤 賢司 学校教育課長：馬場 秀樹

5 本会の事務に従事した者は次のとおりである

学校給食センター所長：石川 広

栄養調理場担当係長：加納 真由美

栄養教諭：角野 純子・土井 綾香・松田 雅子・今村 光

6 本会事件は、次のとおりである。

議題

- (1) 平成30・31年度学校給食用物資納入業者について
- (2) 平成29年度事業報告について
- (3) 平成30年度事業実施計画等(案)について
- (4) その他

事務局：会議について豊明市立学校給食センター運営委員会の公開に関する傍聴者について、「本市ホームページ」に掲載したところ、傍聴希望者はありません。

豊明市立学校給食センター運営委員会規則第7条第2項に基づき、15名中10名の出席で過半数以上のご出席をいただいておりますので、本会議は成立します。

開会宣言 午後3時30分第1回学校給食センター運営委員会の開会を宣言。

1. 会長挨拶

(挨拶要旨)

今日の給食に「菜の花卵焼き」が出ました。卵焼きの中に菜の花が入っていました。19日(月)にはお赤飯を出していただけます。20日が小学校卒業式です。季節に合わせた食事。行事に合わせた食事。それぞれの家庭で食の大事なことを感じられない中で、給食で取組んでいただき大変ありがたいです。

本日午前中、教育長さんと話をする機会があり「新しいことに毛嫌いする」傾向があるという話題になった。給食でうめぼし、レバー、レトルト非常用カレー、豚キムチを出していただいたとき、教員に反応を聞くと、「子どもはうめぼしは苦手食べないよ。レバーも食べないよ。」という意見があった。新しいことをセンターで考えていただき、こういうものもあるということを給食を通して子どもたちに提供していただくことは大切なことであり感謝しています。

今年度を振り返り、次年度の計画についていろいろなご意見をいただいて進めて参りますのでよろしくお願い致します。

議事

(会長より議事進行)

議題(1)平成30・31年度学校給食用物資納入業者について

- ・事務局より資料第1号「平成30・31年度学校給食用物資納入業者申請書提出者一覧表」により説明

(他に意見なし)

会長 全員異議なしにて議題1を承認宣言。

議題(2)平成29年度事業報告について

事務局より資料第2号「平成29年度事業報告」により説明

- ・年間給食実施回数
- ・月別給食食数
- ・安全・安心でおいしく栄養のバランスを考慮した献立作成目標
- ・食に関する指導
- ・学校・家庭・地域との連携(食育の推進)
- ・平成29年度安全衛生に関する取り組み

委員より アレルギーにかかわる献立説明会についてお尋ねしたい。

先日愛日事務協にて、愛日地区で平成29年度エピペン使用例が8回報告された。豊明市ではエピペンの使用実例はないが、給食で気分が悪くなったことを聞いている。アレルギー対応は重要なことである。毎月1回、中央調理場で説明会を開催しているとのことだが、どのような反応だったか。どのようにアレルギーの危険性を周知しているかを教えていただきたい。

事務局 2年前から学校を通じて「アレルギー対象食品使用献立一覧表」を該当者の方にお配りしています。アレルギー説明会では、この表の見方をご説明するので、年度当初の4月には参加いただくよう案内しています。小学校新1年生には一度はお越しいただくようお願いしています。

説明会では、「ドレッシングの使い方(センターで先にかけるのか。個々教室で行うのか)」「配膳のし方について知りたい」とか言った質問をされます。

お仕事を持って見えるお母様方が多く、実際にお越しになる方は少ないです。毎月個々に電話照会が3～4件あります。

委員より 「愛知を食べる学校給食の日」で地元産の農産物等の使用を子供たちにごどのようにお知らせしているか。どんな感じで広められていますか。

事務局 6月と1月に「学校給食だより」を作成してPRしている。それ以外に毎月の献立表の下段に今月の地元産物を使用した献立として紹介しています。1月は各学校に放送原稿を渡し給食時にアナウンスしていただいています。

すべての学校ではないが、授業に参加して地場産物の紹介をしています。

委員より 地場産物は、金額的にどうでしょうか。

事務局 愛知県産を優先して購入するようにしています。季節によって生産時期が移っていくため、安価であれば大量に購入も可能です。豊明産は公費負担の関係もあるので、できるだけ購入するようにしています。やはり市場価格よりも高いです。

(他に意見なし)

会長 全員異議なしにて議題2を承認宣言。

議題(3)平成30年度事業実施計画等(案)について

事務局より資料第3号「平成30年度事業実施計画等(案)」により説明

- ・学校給食実施計画表
- ・安全・安心でおいしく栄養のバランスを考慮した献立作成目標
- ・食に関する指導
- ・学校・家庭・地域との連携(食育の推進)

委員より 29年度の献立で、「かしわのひきずり」があったが30年度はどうでしょうか

事務局 30年度もお出しする予定です。

委員より プチヴェールもJAあいち尾東の一押しの野菜です。是非使用をお願いします。花の街とよあけで「エギブルフラワー」が市内の飲食店で食べることのできる花ということで使用されています。おしゃれで少し高いですが取組んでいただきたいです。

委員より 小学校でも「プチヴェール」のことを知っている子がいて、好評です。情報を持っていることで、子どもたちの話題にもなっています。

委員より ①ドライ運用とは何でしょうか。
②放射能測定の状態と結果はどうでしょうか。
③飲み残し牛乳の処分、学校現場での注意事項は。
④給食費が29年度15円値上げしたことによる献立への影響はありましたか。値上げへのセンターへの問い合わせはありましたか。

事務局 ①ドライ運用とは床に水を流すことなく給食センター場内を使用することです。豊明市の調理場は建設年が古くウエット式になっています。衛生管理上床をできるだけぬらすことなく使用することです。よくわかる例が家庭の台所では流し台だけで水を使用し、昔の魚屋さんではまな板の上で魚をさばき、水を床に流していました。床がぬれることは、細菌が発生しやすい環境で、衛生上好ましくありません。

②放射能測定は、福島県原発事故発生後、東日本で生産された農産物に対して安全を確保するために、豊明市で独自に測定器を購入し、給食のある日は毎日測定をしています。該当品目に応じて基準値が定められていますが、これまで基準値を超えたことはありません。大体3～6デシベルの数値となっています。市の独自の基準値として10デシベルを超えるときは専門機関で再検査をすることになっています。

③平成30年度より学校での飲み残し牛乳を給食センターで一旦回収させていただき、産業廃棄物業者にて処分してもらいます。

学校で回収する際に、牛乳アレルギーのお子様が牛乳を浴びることにならないようご配慮をお願いするところです。

ビンから専用食缶にあけていただくこととなりますので、手間がかかりますのでご協力をお願いします。

④15円値上げしたことによる献立への影響ですが、今年度は野菜が高騰し、物資を購入するにも従来の金額では、より安価なものを選定せざる

をえなかったが、値上げのより物資選定会では味を重視し、より良い食材を購入することができました。

一昨年実施した値上げアンケートで「子どもたちのためなら」という同意をいただいたので、苦情はありませんでした。

会長 尾張小中学校長会の給食委員会において、栄養教諭が「安全で成長期の子どもたちに必要な給食をどのように提供していくか」を研究発表がされています。豊明市では、平成30年度は学校に入っただけのことは、現場としては大変ありがたいです。忙しいでしょうが研鑽をお願いしたいです。

(他に意見なし)

会長 全員異議なしにて議題3を承認宣言。

議題(4) その他

事務局 特にありません。

閉会宣言

午後4時25分終了